

リスキリングのすすめ

How to

<https://www.pref.gunma.jp/site/reskilling/>



かわら版

2024
第2号

「DX人材リスキリング推進事業」とは？

群馬県では、令和6年度から「群馬県DX人材リスキリング推進事業」として、県内企業へのリスキリングの定着・拡大を図るため、リスキリングに積極的に取り組むモデル企業を発掘し、モデル企業の取組からリスキリングの成功事例を創出し、県内に広く発信していく事業を実施しています。



県HP

【何から手をつけたらよいの？】

- 会社として着手していなかった。きっかけをつかみたい！と考え参加した。
- DXについて、何から手を付けてよいか分からなかったが、スキル診断と学習計画作成で、学び方を確認しながら学習を進められるところに期待している。

【経営者や上司の関わり方は？】

- 最初は不安があったが、社内で選抜されたのが2名で、上長からの期待を感じポジティブな気持ちになれた。
- 経営者として人材育成に積極的に関わり、社内でのリスキリング文化を醸成したい。

【講座受講経費は高額みたいだけど？】

- DXのスキルアップの機会を探していた。国の助成金（人材開発支援助成金）を使えば費用負担少なく受講できると知り参加した。
- 中小企業では、リスキリングプログラムは受講費用が高く導入困難と思っていたが、国の助成金を活用できるのは画期的。

リスキリングとは、「新たな業務に必要となるスキル・知識を習得すること／させること」です。

群馬県では、特に、**企業主体のリスキリング**を「DXへの対応、新たな事業分野への挑戦など、企業が成長し続けるために、企業が実施責任を持ち、従業員に対して今後必要となる新しい知識やスキルを学ばせること」と定義して推進しています。

リスキリング講座受講に臨む 受講生の本音は？（受講者座談会から）

「DX人材リスキリング推進」事業の令和6年度のモデル企業12社が決定しました。過日、各モデル企業から選抜された受講生が一同に会する説明会が開催されました。説明会終了後に開催された「座談会」に潜入し、**参加理由、学習開始にあたっての期待と不安、受講修了後の展望**などを、ざっくばらんに聞いてみました。



聞き手：
自らのスキル不足を痛
感している 係長 K

【DXって、社内でも一部の部署（部門）の話でしょ？】

- 社内の部門間でDX化に対する温度差があったが、職場単位の小さな改善・効率化ではなく、**部門の垣根を越えて会社全体のDX化を進めたい。**

【受講修了したら、これをやりたい！】

- ファーストベンギンとして今回の受講成果を社内に展開したい。
- SEとして開発スキルレベルを一段上げたい。
- 学んだことを社内で共有し、多岐にわたるマニュアル類を整備したい。
- DXやリスキリングなどの用語も分からない状態だが、修了後には新規事業立ち上げに役立てたい。



- ✓ リスキリングに取り組む前に、「学習計画」をつくってみる方法があるのですね。
- ✓ 経営者や上司の方が積極的に関わることで、従業員の方のモチベーションが上がっています。
- ✓ 講座受講費用には国の助成金「人材開発支援助成金」を活用できるのでですね。
- ✓ リスキリングにより、部門間の温度差の解消にもつながりそうです。
- ✓ リスキリングの目的は、会社ごとにそれぞれ違うのですね。

問合せ先：群馬県 産業経済部 労働政策課 人材活躍支援室 リスキリング推進係
✉ rouseika@pref.gunma.lg.jp ☎ 027-226-3403

